

2026～2027 SHIKI WEEKLY

国際ロータリー 第2570地区 第2グループ



持続可能な
インパクトを
生み出そう

志木ロータリークラブ

2026-27年度 国際ロータリー 会長 オラインカ・ハキム・ハバロラ 「CREATE LASTING IMPACT」
2026-27年度 第2570地区 ガバナー 原島 生慈 「ロータリー活動に誇りを！」
2026-27年度 志木ロータリークラブ 会長 國分 学 「志木 SHIKIプライド」

第2476回 例会

2026-7-29

RI第2570地区 原島生慈ガバナー 公式訪問

- ◎司会 末富 啓道 副会長
- ◎点鐘 國分 学 会長
- ◎ソング 我らの生業
- ◎ソングリーダー 塩野 章 正 SAA
- ◎四つのテスト 塩野 章 正 SAA
- ◎ゲスト

第2570地区ガバナー 原島 生慈 様(秩父RC)
〃 第2Gガバナー補佐 松岡 昌宏 様(新座RC)
新井 高広 様(秩父RC 幹事)
宮前 隆一 様(秩父RC 会長エレクト)



例会に先立ち原島ガバナー、松岡ガバナー補佐との懇談があり、会長・副会長・幹事・5年未満会員が参加しました

「会長挨拶」

会長 國分 学



挨拶に先立ち、昨日発生しました熊本での地震により被災された方々へ心よりお見舞いを申し上げます。

改めまして皆様、こんにちは！本日は、いよいよ「原島ガバナー公式訪問」の日を迎えました。

まず初めに、本日ご多忙の中、我が志木ロータリークラブへお越しいただきました原島ガバナーをはじめ、ゲストの皆様を、会員全員で心から歓迎申し上げます。また、先日のガバナー補佐訪問に続き、本日もサポートしてくださる第2グループガバナー補佐の松岡昌宏様にも、改めて感謝申し上げます。

さて、本日原島ガバナーをお迎えするにあたり、改めて今年度の地区方針をおさらいしたいと思います。原島ガバナーが掲げられたテーマは、『ロータリー活動に誇りを！』。私たちは日頃、何気なく例会に通い、地域で

志木ロータリークラブ 例会日/毎週水曜日(12:30～13:30) 創立/昭和 47 年 1 月 17 日
例会場・事務所/〒353-0004 志木市本町5-17-3 埼玉りそな銀行志木支店内 TEL 048-474-2125 FAX 048-487-3100

7 月 は 「 母 子 の 健 康 月 間 」 で す

奉仕活動を行っています。しかし原島ガバナーは、「私たちの活動は、必ず社会のどこかで誰かの役に立ち、未来に持続可能なインパクトをもたらしている。だからこそ、自分たちの活動に強い『誇り』を持とう！」と訴えかけておられます。

この熱いメッセージを受けて、我が志木ロータリークラブが掲げた今年度のテーマが、『志木 SHIKI プライド』です。まさにガバナーの想いと、私たちのテーマは完全に一つに繋がっています。

7 月、8 月に当クラブには新しく 3 名の素晴らしい仲間が加わりました。歴史ある志木の街で、新しい仲間とともに誇りを持って奉仕と親睦を重ねていく。今日という日は、私たちが磨き上げてきた『志木 SHIKI プライド』を、原島ガバナーにしっかりと見ていただく最高の機会です！

本日は、この後の通常例会に続き、14 時 40 分まで「クラブ協議会」が予定されております。会員の皆様には長時間の例会となりますが、ご協力いただきありがとうございます。

クラブ協議会は、単なる「報告の場」ではありません。各委員長をはじめ、私たちが今年一年、この志木の街でどんな「持続可能なインパクト」を起こしていきたいのか。どんな想いで『志木 SHIKI プライド』を体現していくのか。私たちの生の声を原島ガバナーにお伝えし、熱く語り合い、そして温かいご指導をいただくための「対話の場」です。

我が志木ロータリークラブは、正会員 50 名の非常に仲が良く、機動力にあふれた素晴らしいクラブです。どうぞ本日は、私たちの活気あふれる雰囲気と、ロータリーへの情熱を存分に感じ取っていただければ幸いです。

会員の皆様、本日は志木ロータリークラブの底力をガバナーにお見せする一日です。全員で歯車を一つに噛み合わせて、笑顔あふれる、実り多きガバナー公式訪問にしていましましょう！

以上をもちまして、原島ガバナーとゲストビジターの皆さまへの歓迎と、本日の会長挨拶といたします。本日は一日、どうぞよろしくお願いいたします！

「幹事報告」 幹事 影山 和良

1. 国際ロータリー日本事務局財団室よりジェニファー・ジョーンズ・ジャパン賞について受信

2. 地区事務所より 3 件受信

○地区大会記念チャリティーゴルフコンペ開催案内

日時：2026 年 10 月 5 日（月）

会場：平成倶楽部

受付：6：30～

スタート：7：32～

○ロータリー財団セミナー案内

日時：9 月 5 日（土）13：30～16：30

場所：早稲田リサーチパーク・コミュニケーションセンター 3 F

○8 月 4 日（火）川越 RC 例会案内

日時：2026 年 8 月 4 日（火）点鐘 12：30

場所：川越プリンスホテル 5 F

メイキャップフィー：3,000 円

3. 鶴ヶ島ロータリークラブより第 6 回米山記念奨学生スピーチコンテスト開催案内

日時：10 月 18 日（日）受付開始 13：30

会場：アルカーサル迎賓館川越

「委員会報告」

●親睦委員会

親睦旅行の件

白井 義尊 会員

今年度の親睦旅行を 2027 年 6 月 6 日（日）～6 月 8 日（火）での 2 泊 3 日を予定しております。2 泊 3 日の人もおられれば、1 泊 2 日で前半の日月、後半の月火、皆さんが楽しめる旅行を計画しておりますので、ぜひ日程の調整よろしくをお願いします。

小諸 RC 夜間例会の件 市之瀬 正靖 会員

来週の小諸 RC との納涼夜間例会ですが、14 時集合でお願いします。

「卓 話」

「ガバナー公式訪問卓話」

第 2570 地区ガバナー 原島 生慈 様



7月「母子の健康月間」です

本日は、ガバナーとしての考えと今年度の方針についてお話しします。

私は1960年生まれで、秩父ロータリークラブに2006年に入会しました。クラブ会長や地区役員を歴任し、本年度ガバナーを務めています。ガバナーの役割は決して特別な立場ではなく、RI（国際ロータリー）会長のメッセージを地区の皆様へ分かりやすく伝え、それぞれのクラブで具体的な活動へとつなげていただくことです。

今年度のRI会長テーマは「持続可能なインパクトを生み出そう」です。単に奉仕活動を行うだけでなく、その活動が地域や社会に長く良い影響を与え続けることが重要だと考えています。一時的な寄付や記念事業だけではなく、その後も継続して価値を生み出す活動こそが、本当の意味でのインパクトになります。

また、ロータリーは単なる奉仕団体ではなく、自分自身を成長させてくれる場でもあります。仕事や家族、人との出会いを通じて人生が変わり、「入って良かった」と感じる体験を会員同士で共有することが、退会防止や会員増強にもつながります。寄付も金額の大小ではなく、心を込めて社会に貢献しようとする姿勢が大切です。

私自身、今年食道がんを患い、大きな手術を経験しました。その中で改めて健康の大切さや、多くの仲間を支えられるありがたさを実感しました。この経験からも、人とのつながりこそロータリーの最大の財産であると強く感じています。

今年度、地区のスローガンは「ロータリー活動に誇りを」です。ロータリーそのものではなく、「活動」に誇りを持つことを大切にしたいと考えています。世界中のロータリアンと交流する中で、自らの活動に誇りを持って語る姿に強く感銘を受けました。私たちも日々の奉仕活動を誇りとして発信することで、地域から信頼され、会員自身のやりがいにもつながるはずです。

重点施策としては、「魅力あるクラブづくり」「ロータリーブランドの確立」「ポリオ根絶へのラストスパート」「次世代育成と絆」の4つを掲げています。特にクラブは、多様性を受

け入れ、誰もが参加しやすい環境づくりが重要です。例会の服装や開催方法なども時代に合わせて柔軟に見直しながら、一方で奉仕の精神やロータリーの目的という本質は守り続けなければなりません。

ポリオ根絶については、ロータリーが長年取り組んできた世界的な活動です。あとわずかで根絶が実現する段階まで来ています。私たちにできることは、この活動を理解し、多くの方へ伝えていくことです。また、青少年育成やローターアクトとの連携を通じて、未来のリーダーを育てることも重要な使命です。

地区運営については、クラブにより寄り添うため、グループを細分化しました。地区はクラブのために存在するという考えのもと、各クラブの課題に迅速に対応し、活性化を支援していきます。

最後に、ロータリーの奉仕は他人のためだけではなく、自分自身への投資でもあります。仕事を磨き、人を育て、仲間との絆を深めることが、結果として人生を豊かにします。未来を変えるのは私たち一人ひとりの今日の行動です。志木ロータリークラブの皆様と力を合わせ、誇りを持って地域と地区をさらに盛り上げていきたいと思います。

（紙面の都合上、一部内容を編集のうえ掲載しております）

「クラブ協議会」

ファシリテーター

第2G ガバナー補佐 松岡 昌宏 様



本日のクラブ協議会では、「ロータリー活動に誇りを持てた経験」をテーマに、皆さんと意見を交わしたいと思います。それぞれの体験を共有することで、退会防止や会員増強に

7月「母子の健康月間」です

つながるヒントが見つかるかと思っています。

私自身、ロータリーに入ってから良かったと感じる一番の理由は、多くの素晴らしい仲間と出会えたことです。入会以来、幹事や会長、そしてガバナー補佐を務める中で、その都度新たな出会いがあり、人とのつながりが大きく広がってきました。それがロータリーの大きな魅力であり、誇りに思っていることです。

皆さんも、特別な出来事でなくても構いません。ロータリー活動を通じて感じた喜びや誇り、印象に残っている経験を自由にお話してください。そうした体験を共有し、互いに共感することで、クラブの魅力を再認識できる機会になればと思います。

これからA・B・C各グループに分かれ、約15分間話し合ってください、その後、各グループの代表者に内容を発表していただきます。ぜひ活発な意見交換をお願いいたします。

グループ発表



A グループ（発表者：内山会員）

- 「大人が変われば子供が変わり、子供が変われば社会が変わる」という活動へ寄与できる誇り。
- 地域の建造物などを通じ、地域に関わる団体に所属している実感。
- 次世代とのつながりとして、学生の地域活動を後援・参加できる喜び。
- イベント来場者の多さから活動の影響を実感する喜び。
- 活動を通じ、つながりがクラブ内から地区、世界へと広がる実感。

B グループ（発表者：遠藤会員）

- 「ロータリー希望の風奨学金」への協力で、両親を亡くした子供たちの大学卒業まで

を支援した経験。

- 世界大会・親睦旅行・交換留学のホストファミリー経験など、仲間と過ごした時間を通じたクラブへの愛着。
 - 補助金活動で地下道の壁画を設置し、SNSで「道が明るくなった」との感謝の書き込み。
 - みつばすみれ学園の夏祭り支援、芝桜の植栽で川辺がきれいになったこと。
- #### C グループ（発表者：神山（威）会員）
- 誇りの前提として「感謝の心を持つこと」が重要との意見。
 - ロータリークラブに入会できたこと、素晴らしい方を勧誘できたことへの誇り。
 - 「希望の風」で支援した学生が、世の中のために奉仕したいと考えるようになったこと。
 - 献血活動が個人の活動からクラブの活動として認識されるようになったこと。
 - 登山道で自然にゴミ拾いをするなど、奉仕の心が身についたこと。

ガバナー総評



皆様、長時間にわたり熱心にご議論いただき、本当にありがとうございました。本日の意見交換を通じて、改めて志木ロータリークラブの結束力と素晴らしさを実感しました。特に、個人では実現が難しい地域貢献も、ロータリーだからこそ形にできることが多くあると感じます。地域に残る壁画のような活動は、ロータリーの名を前面に出すのではなく、地域に自然と根付き、私たち自身も誇りを持てる取り組みの一例です。

また、他クラブの事例として、京都大学のiPS細胞研究を支援するため、ゼロから大学

7 月 は 「 母 子 の 健 康 月 間 」 で す

との関係を築き、8 年間にわたり寄付活動を継続しているクラブもあります。こうした活動は、ロータリーだからこそ長く続けられる奉仕の力を示しています。

さらに、ロータリーバッジは単なる徽章ではなく、自覚と誇りを育む象徴です。バッジを身につけることで、自らの行動を律し、「ロータリアンとして恥ずかしくない振る舞いをしよう」という意識が自然と生まれます。そして、世界中に仲間がいるという安心感や信頼にもつながっています。

ロータリーには、メーキャップ制度を活用して他クラブを訪問し、新たな出会いや学びを得られる魅力もあります。国内外を問わず、多くの仲間と交流することで、ロータリーの世界の広さを実感できるでしょう。

ロータリアンであることに誇りを持ち、その誇りを地域や社会への奉仕につなげていくことが、私たち一人ひとりの役割です。これからの一年も仲間とともに充実した活動を重ね、世界大会など新たな挑戦も楽しみながら、実りあるロータリーライフを送っていきましょう。本日はありがとうございました。



7 月 は 「 母 子 の 健 康 月 間 」 で す



志木ロータリークラブ 会長/國分 学 副会長/末富啓道 幹事/影山和良
◇2476-6 会報委員会 委員長/神山威仁 副委員長/鴨下秀幸 委 員/塩野章 竹下尚宏 宮原一 山形碧